



千葉商科大学第1回自然エネルギー100%大学セミナー

気候変動の状況と 自然エネルギー100%大学の意義

2020.10.3

平田仁子 Kimiko Hirata

気候ネットワーク 国際ディレクター

CAN Japan 代表

千葉商科大学サイエンスアカデミー特別客員准教授

khirata@kiconet.org





自然エネルギー100%プラットフォーム

◀ 自然エネルギー100%プラットフォームは「新しい常識」である自然エネルギー100%についての議論を喚起します。 ▶

CAN-Japan参加団体：気候ネットワーク／地球環境市民会議(CASA)／WWFジャパン／「環境・持続社会」研究センター (JACSES)／グリーンピース・ジャパン／レインフォレスト・アクション・ネットワーク (RAN) 日本代表部／コンサベーション・インターナショナル・ジャパン (CIジャパン)／環境エネルギー政策研究所 (ISEP)／国際環境NGO FoE Japan／350.org Japan／自然エネルギー財団／ピースボート／東アジア環境情報発信所／世界連邦運動協会

コロナ禍の「今」

世界経済の低迷 (World Bank, 2020.6)

- 世界経済成長率： - 5.2% (2020年)

労働・雇用の喪失 (ILO, 2020.6, 2020.9)

- 非公式経済就労者の10.5%の労働喪失
 - 1億9000万人(16億人中)の労働者に相当
- 労働時間の減少
 - 17.3%減少(2020年第2四半期)
~12.3%減少(2020年第3四半期)
- 収入減少
 - 10.7%減少
(2020年第1-3四半期)



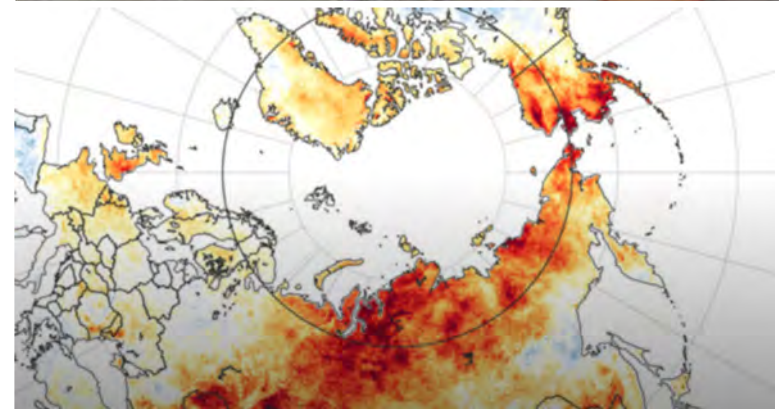
気候危機の「今」

異常気象の頻発

日本/中国/ 南アジアの大洪水

高温・猛暑

シベリアの高温と火災・氷の融解



Source: UN News

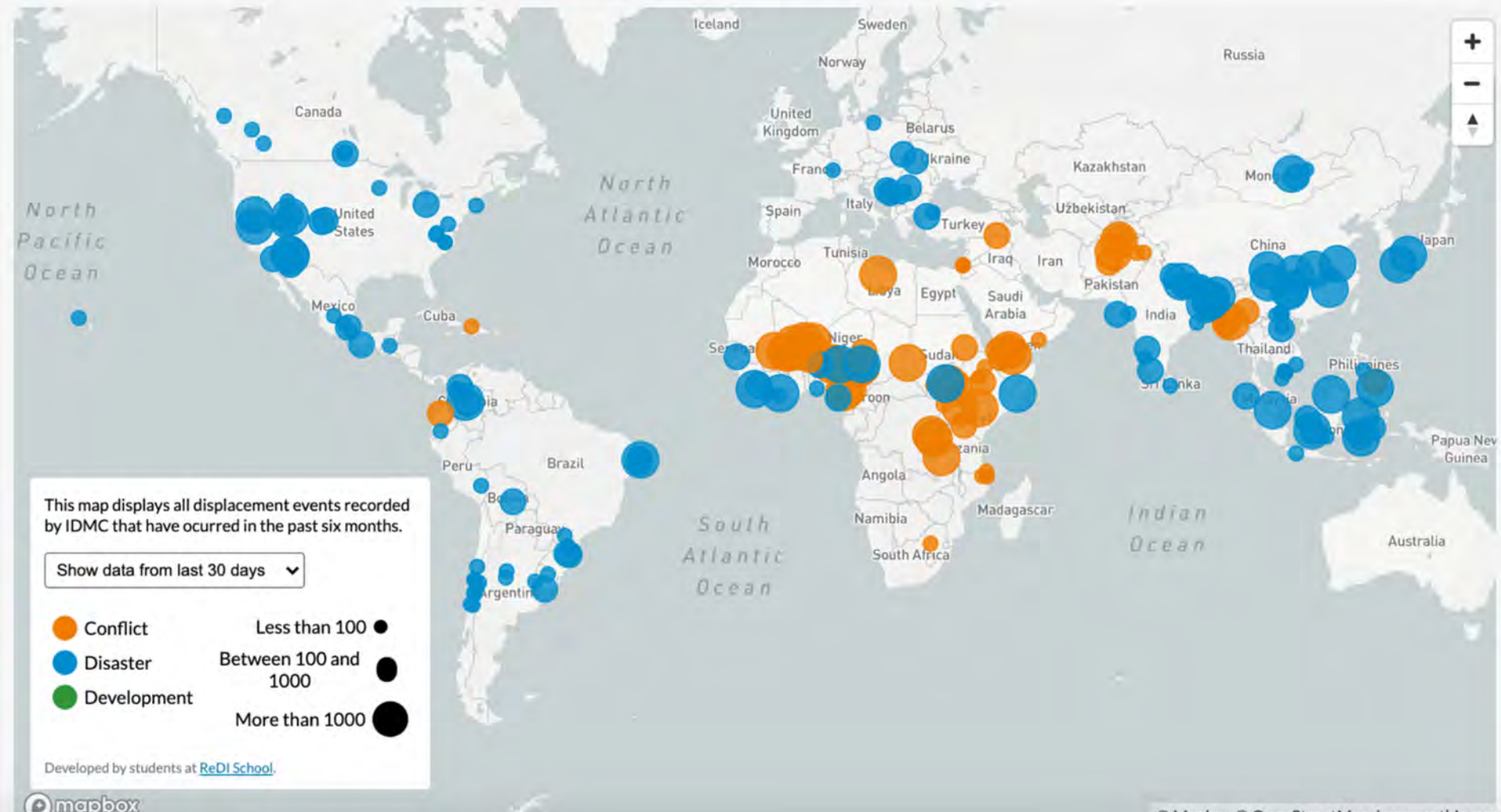
森林火災

カリフォルニア・オーストラリア・ブラジル

気候災害がもたらす不安定な世界情勢

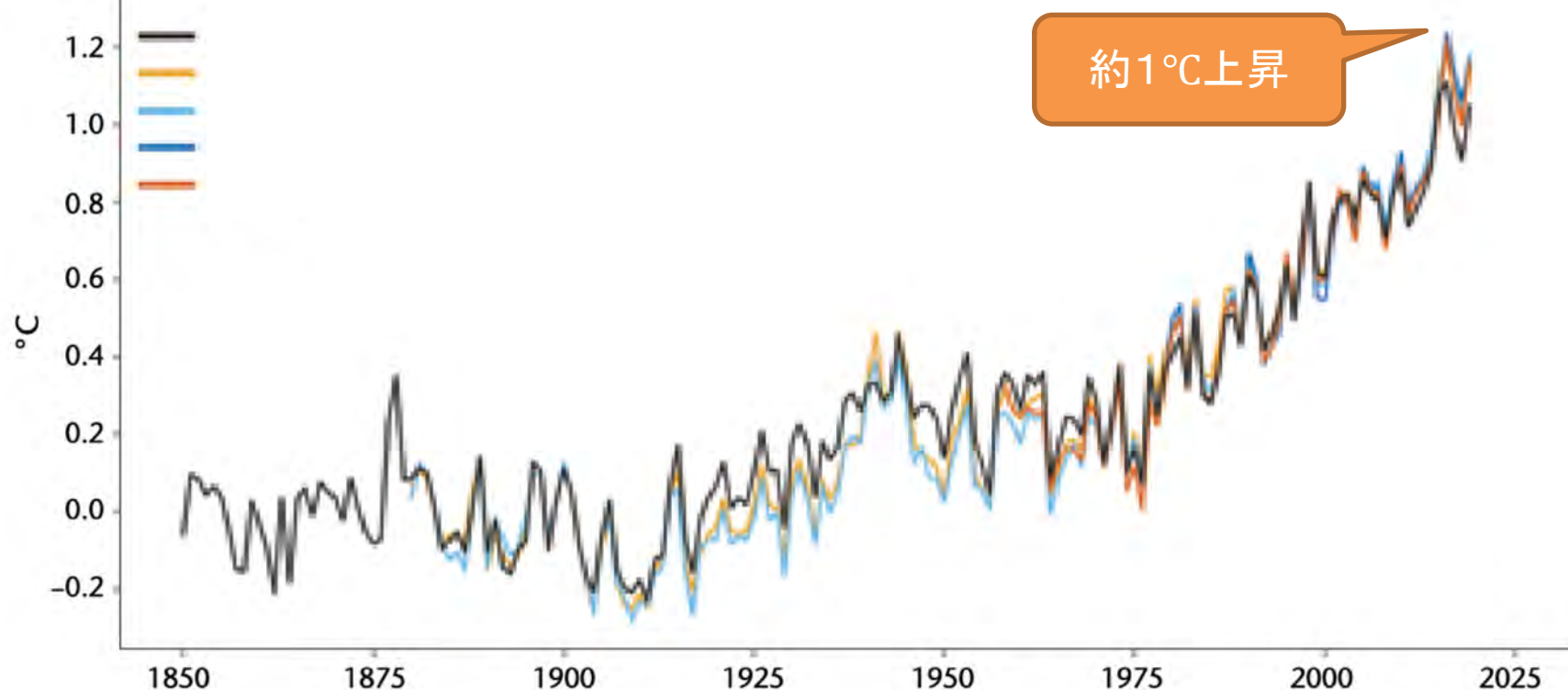
災害 + 紛争による人の移動の拡大

Internal Displacement Updates



現在の状況－「約1°C」の気候上昇

地球の平均気温は、工業化前とくらべて約1°C上がった

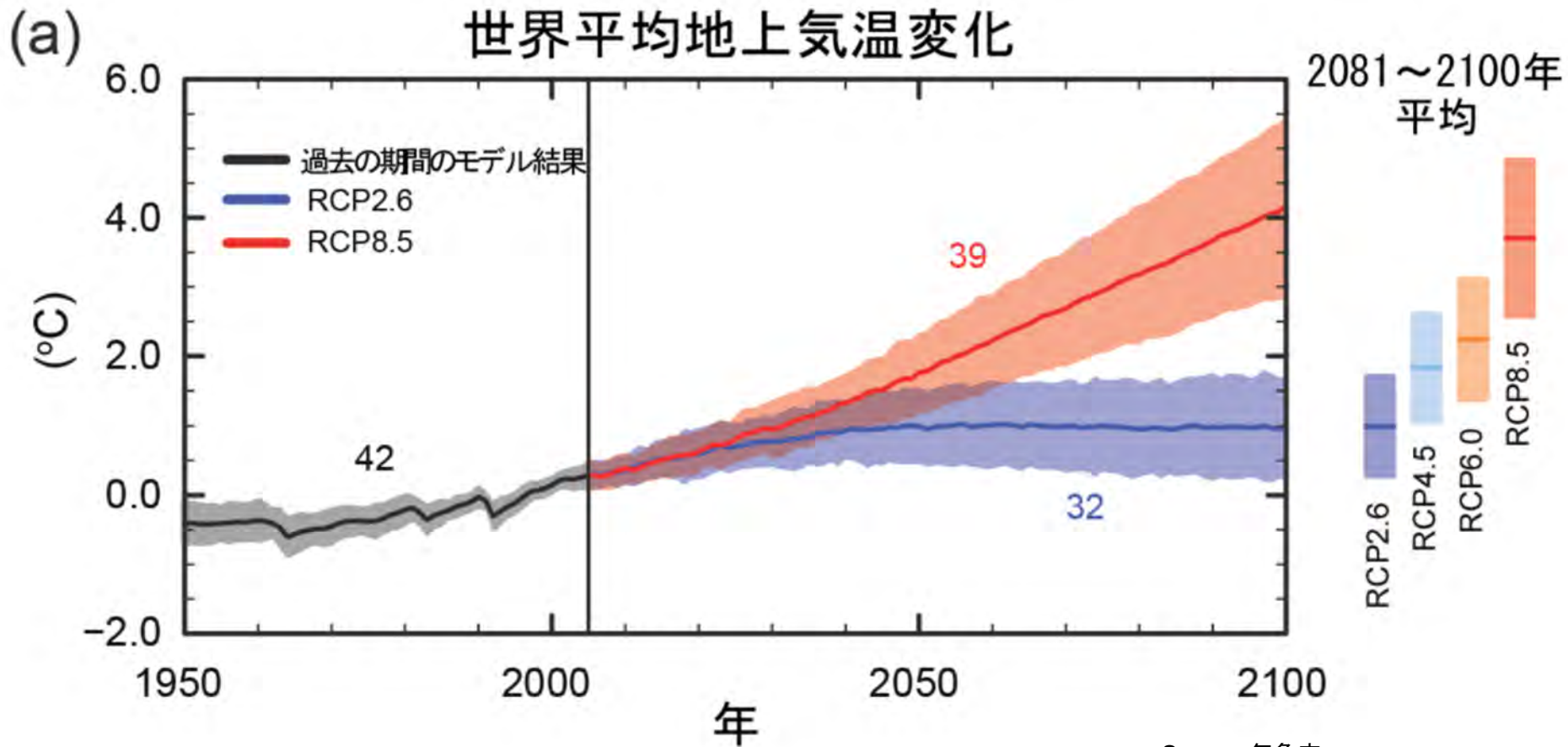


Source: WMO

地球は、確実に、スピードを上げて温暖化している

2015-2019年の最近の5年が観測史上一番暑かった

このままでは「3°C以上」の気温上昇へ

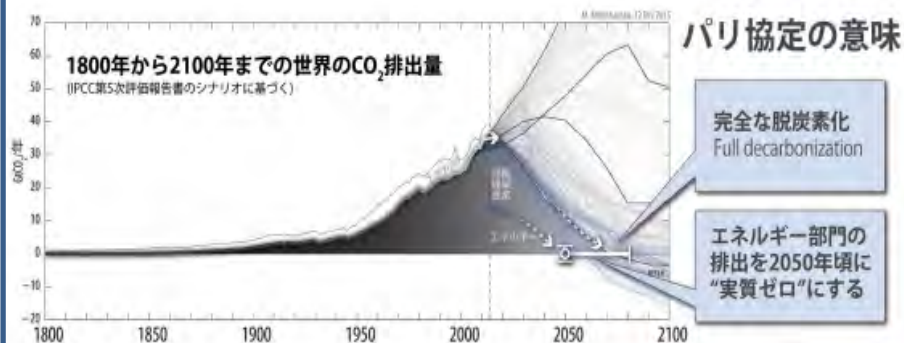


Source: 気象庁

危機を防ぐために実現すべき 「1.5°C」／2050年ネットゼロ目標

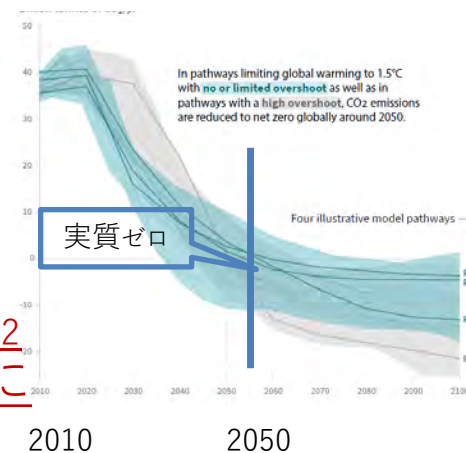
パリ協定

- 気温上昇を2度未満に抑制、さらに1.5度に抑制へ努力
- 今世紀後半に世界全体の温室効果ガス排出をネットゼロに = エネルギー部門の排出を2050年頃に実質ゼロ



IPCC 1.5°C地球温暖化 ii)

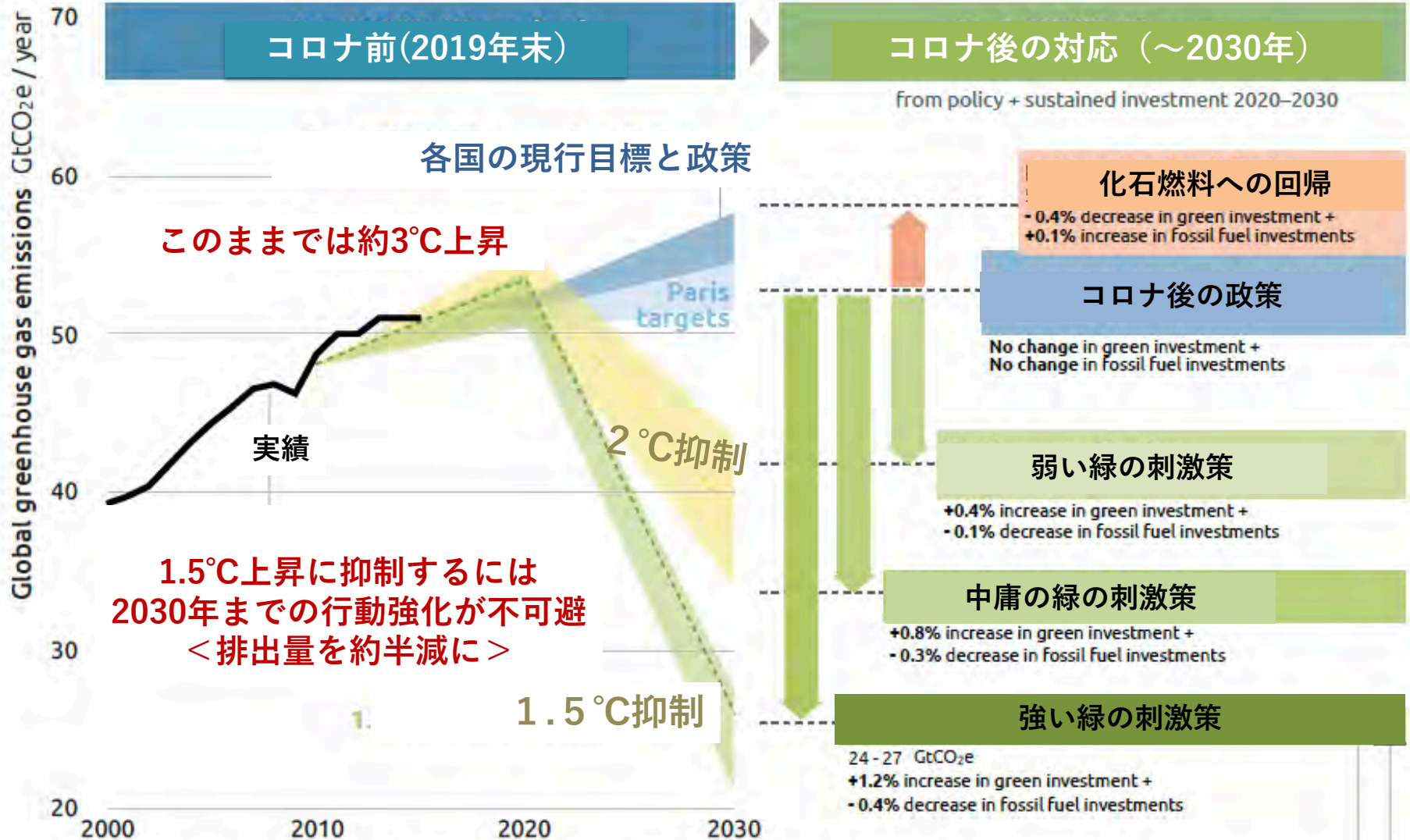
- 早ければ2030年に1.5度上昇に到達
- 気温上昇を1.5度に抑制するには2050年に世界全体のCO₂排出をネットゼロに



UNEP排出ギャップレポート iii)

2030年NDCシナリオとパリ協定目標とのギャップは大きく、**2度目標達成には現行NDCの3倍、1.5度目標達成には5倍の努力が必要。**

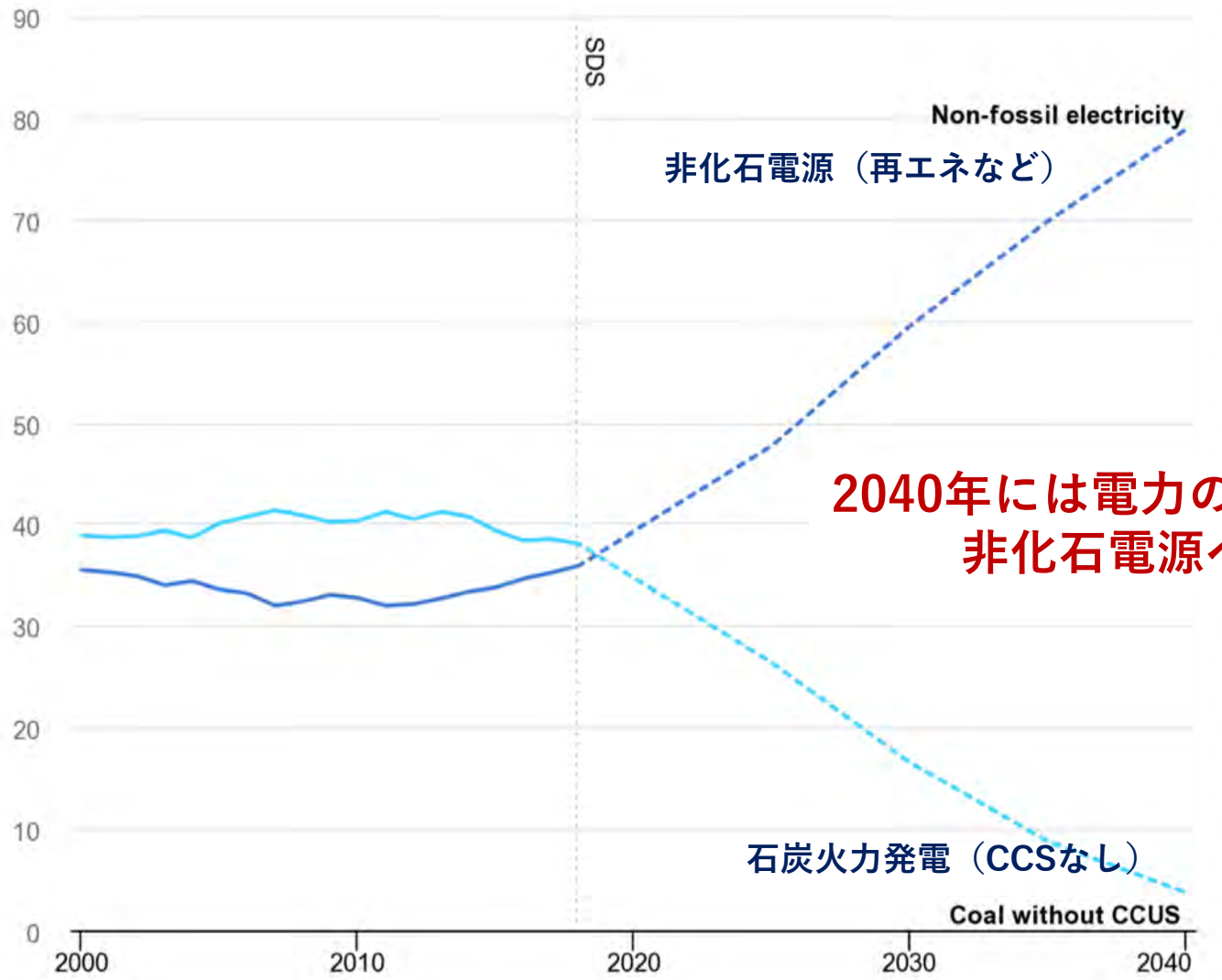
この10年のコロナからの経済再生策が決定的に重要



* Indicative results for post COVID-19 current polices has been calculated on a different basis compared to normal pre-COVID-19 method and excludes any announcement of economic recovery measures to date.

Explaining the ranges on estimates
Based on the optimistic scenario of future GDP growth
Based on the pessimistic scenario of future GDP growth

国際エネルギー機関の持続可能発展シナリオに基づく 電力供給の道すじ



2040年には電力の80%を
非化石電源へ



1.5°Cをめざして
各国の行動を引き上げを要請

- ・ 2020年までに新規の石炭火力発電を中止
- ・ 2030年までに温室効果ガスを45%削減
- ・ 2050年にはCO2排出実質ゼロ

<世界が目指すエネルギー転換>

温室効果ガス削減目標の強化

(2030年にCO₂50%削減、2050年に実質ゼロ)

化石燃料から再エネ100%社会への転換

これらに伴う産業・雇用の「公正な移行」戦略



アントニオ・グテレス
国連事務総長

発想の転換の時

エネルギーには、「化石燃料」や「原発」が欠かせない
↓
「自然エネルギー100%の未来は100%作れる」



RE 100

再エネ100宣言
RE Action

100%
自然エネルギー

大学が自然エネルギー100%に向けて 取り組むことの意義

大学・キャンパスは、

- ・ エネルギー排出が大きい主体である
- ・ 波及効果・教育効果が大きい主体である
- ・ 未来をつなぐ若者たちが主役の場である

ゼロへのレースは始まっている

Race to Zero : 549大学が参加

多くの非国家主体が「2050年CO2ネットゼロ」目標に

参加には、「宣言」するだけでなく「計画」を立て「実行」し、進捗を「報告」することが最低基準

A graphic for the 'Race to Zero' initiative. It features a thick, horizontal bar with a gradient from dark purple on the left to bright purple on the right. The words 'RACE TO ZERO' are written in a bold, white, sans-serif font across the right side of the bar. The background is a dark blue gradient with a vertical light purple glow on the right side.

1,101 Businesses

452 Cities

45 Investors

22 Regions

549 Universities